

# 年頭のあいさつ

行田市長  
工藤 正司

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことからお慶び申し上げます。

皆様にとりましてこの一年が、幸多きすばらしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年我が国は、東日本大震災や原発事故など、未曾有の災害に相次いで見舞われました。今ほど「安心・安全」が問われ、復興と再生が求められているときはありません。

埼玉県名産の地 私たちのふるさと行田は、恵まれた自然と輝かしい歴史が息づくまちです。先人の深い英知とたゆまぬ努力の積み重ねによって、幾多の試練を乗り越え、今日まで目覚ましい発展を遂げてまいりました。

私は強く思います。「未来の行田を創るのは未来の誰かではない。今を生きる我々である」と。今こそ先人の不屈の精神に学び、私たちの手で今日のピンチをチャンスに変えていこうではありませんか。



## 新春座談会

環境問題や健康、防災、教育などさまざまな効果がある「いのちを守る森づくり」。平成20年度から指導をいただいている宮脇昭さん(横浜国立大学名誉教授)と、植物を通して心身の健康に取り組んでいる池田明子さん(ソフィア フィトセラピーカレッジ学校長)をお招きし、工藤市長とお話をいただきました。

行田市では、今後10年先を見据えたまちづくりビジョン「第5次総合振興計画」が今年度からスタートし、新たな一歩を大きく踏み出しました。「定住人口」と観光などによる「交流人口」を合わせた「まちづくり人口・10万人のまち」を目指してまいります。

本年は、力強い行動へとつなげていく年です。安心・安全を基本に据えた施策を展開し、市民の皆様の命と財産を徹底的に守りぬいてまいります。さらに、埼玉県の「環境みらい都市」にふさわしい「行田エコタウン」の創出に力を注いでまいります。秋にはいよいよ期待の映画「のぼうの城」が公開されます。これまで培ってきた「おもてなし」にさらなる磨きをかけ、官民一体となって行田の魅力を全国に発信し、みなぎる活力と賑わいを創出してまいります。

私は、行田市のさらなる発展と8万7千市民の幸せのため、「行田ならではのオンラインワンのまちづくり」に全身全霊を注ぎ、まい進していく覚悟であります。

誰もが誇りをもてる未来のふるさと行田を、共に築いていきましょう！本年も市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

**市長** 本日は、お忙しい中、行田にお越しいただきありがとうございます。独自の植樹法のもと、日本のみならず世界的に活躍されており、また、平成20年度から行田の森づくりのご指導をいただいている宮脇さんと、私が森づくりの勉強をしている時に知り合った池田さんの3人で、森や緑の大切さについて、そして行田のまちづくりについて大いに語り合いたいと思います。

**宮脇** 私は学生時代から植物生態学に興味を持ち、その中で、森が、人や環境に与えるさまざまな効果について研究してきました。以来、本物の森を日本に、世界によ

みがえらせるために、「いのちを守る森づくり」植樹活動をしています。これまで国内外1千700力以上で植樹の指導を行い、4千本以上の木を植えてきました。現在83歳になりましたが、後30年は行田に、日本に、そして世界に木を植えて緑の大切さを伝えていきたいです。

**池田** 心身の健康を保つためには、野菜や薬草などの植物を取り入れることが大切であるとの考えから、植物療法(フィトセラピー)の学校長をしています。緑豊かな環境でリフレッシュすることは大事なことだと考え、宮脇先生の植樹活動に共感し、参加しています。



## Profile

宮脇 昭さん

昭和3年、岡山県生まれ。広島文理科大学（現広島大学）卒業。ドイツ国立植生図研究所研究員、横浜国立大学講師、助教授、教授を経て平成5年、同大学の名誉教授に就任。学生時代から雑草生態学の研究を進め、「宮脇方式」と呼ばれる独自の植樹法を生み出し、日本のみならず、世界各国に本物の森づくりのノウハウを提供している。その功績をたたえられ紫綬褒章、勲二等瑞宝章などを受章している。



# 森とともに、緑とともに

～いのちを守る森づくりを通じた 行田のまちづくり～

## 環境にやさしいまちを目指して

力や免疫力が落ちてしまいます。ぜひ、環境にやさしいまちを目指してほしいです。

**市長** 地球温暖化が世界で叫ばれていますが、「いのちを守る森づくり」は誰にでもできる地球温暖化対策ではないでしょうか。森づくりの大切さを行田から全国に発信し、環境にやさしい快適なまちをつくりていきたいと思っています。

**宮脇** 人間は森や緑がなければ生きていくことができません。森や緑をつくることは、自分の命を、あなたの愛する人を守ることです。環境問題や災害対策にも大変有効ですので、これらすべてを含めて「いのちを守る森づくり」を構想しました。本物の森をつくり、快適で住みよいまちづくりを実行してもらいたいですね。

**池田** フィトセラピーは、ハーブや薬草を使って体内を健全にすることを目的としています。生活環境も重要であると考えています。体の内側をきれいにして、生活環境が乱れていては、自然治癒

**市長** お二人のおっしゃるとおりです。「いのちを守る森づくり」をはじめ、市民を中心に自然環境を守る活動が盛んに行われています。また、エネルギー問題も重要な課題の一つです。住宅用太陽光発電システム設置補助の拡大や約6千基ある防犯灯すべてのLED化など、行田エコタウンの創出に力を注いでいます。さらには、輸送に伴う二酸化炭素の発生抑制などの効果がある地産地消を推進しています。このような環境にやさしいまちづくりを市民の皆さんと一緒に、真正面から取り組んでいきます。

**池田** 地産地消は必要なことだと思います。例えば野菜は、食べられれば何でもいいのではなく、昔から、その土地で採れた野菜が一番って言いますよね。地産地消の面からエコタウンに取り組みむのも面白いですね。



## Profile

池田 明子さん

昭和32年、神奈川県生まれ。臨床検査技師として病院に勤務する中で、代替医療に興味を持ち、その中でもハーブやアロマセラピーを用いたフィトセラピー（植物療法）に惹かれるようになる。現代社会における真の癒しへの需要増大を踏まえ、初心者からプロ志願者までが学べるフィトセラピーの学校「ソフィアフィトセラピーカレッジ」を平成18年に設立し、学校長を務める。夫は俳優の梅沢富美男さん。